

令和3年度 市政世論調査

報告書 概要版

この報告書概要版は、令和3年6月18日～令和3年7月2日にかけて実施した「令和3年度市政世論調査」の主な結果をまとめたものです。

< 目次 >

I. 調査の概要	1
II. 調査回答者の属性	2
III. 調査結果	4
1. 暮らしや居留意向について	4
2. 越谷市への愛着度と魅力発信について	5
3. 地場農産物や地産地消について	6
4. 市内の公共交通について	7
5. 景観（風景）について	8
6. 地域医療体制について	9
7. 人権全般に関する意識について	10
8. 男女共同参画について	11
9. スポーツ・レクリエーションの実施状況について	13
10. 広報について	14
11. 行政のデジタル化について	15
12. 参加と協働のまちづくりについて	16
13. 防犯について	17
14. 特殊詐欺について	18
15. 消防団について	19
16. 越谷市の施策について	21

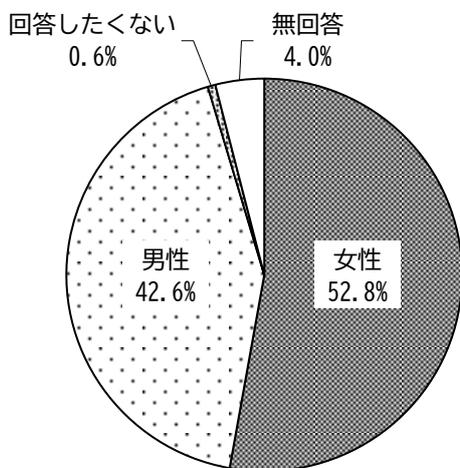
I. 調査の概要

- ◆ 調査地域 : 越谷市内全域
- ◆ 調査対象 : 市内在住の18歳以上の男女5,000人
- ◆ 抽出方法 : 住民基本台帳より無作為抽出
- ◆ 調査方法 : 郵送法（郵送配布・郵送回収）
- ◆ 調査期間 : 令和3年6月18日～令和3年7月2日
- ◆ 回収結果 : 有効回収数2,888人 回収率57.8%

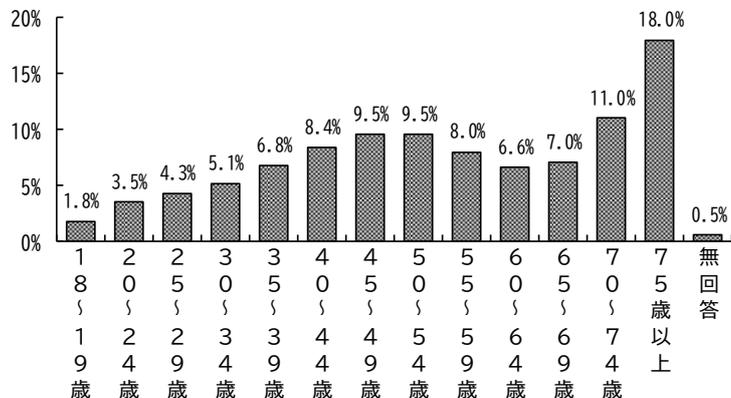
II. 調査回答者の属性

回答者の属性は以下の通りである。

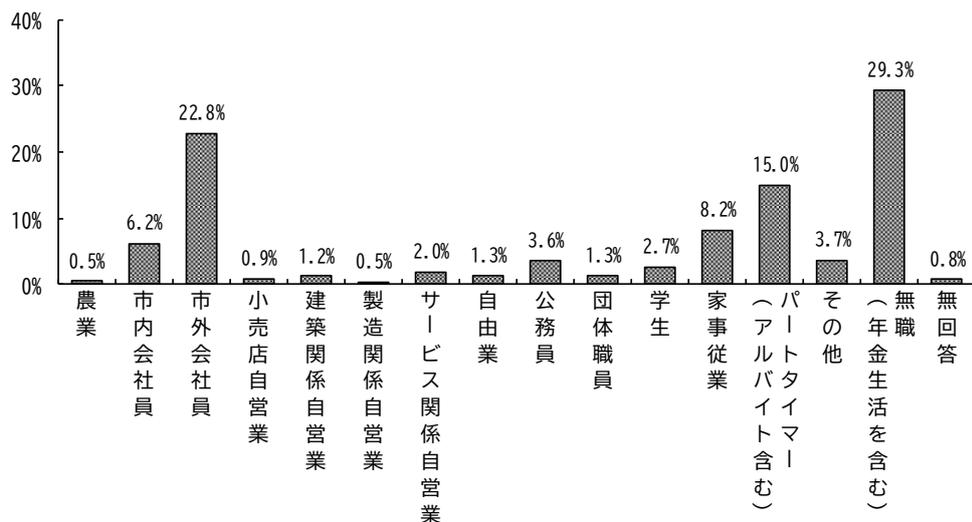
◆性別 (n=2,888)



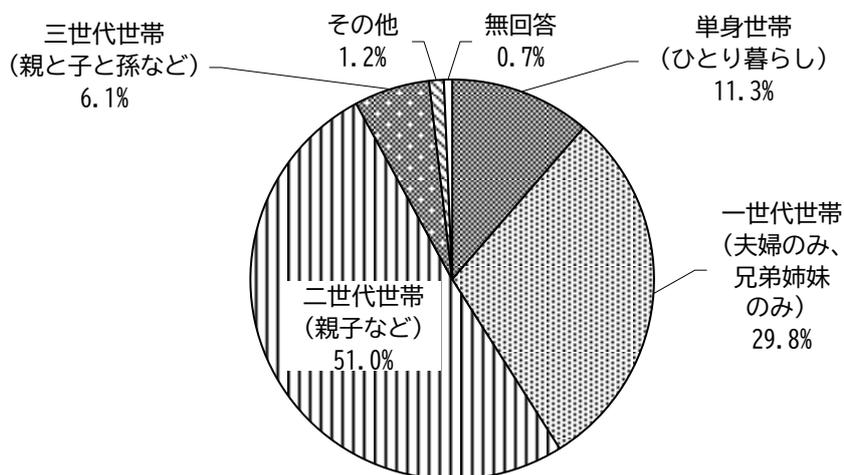
◆年代 (n=2,888)



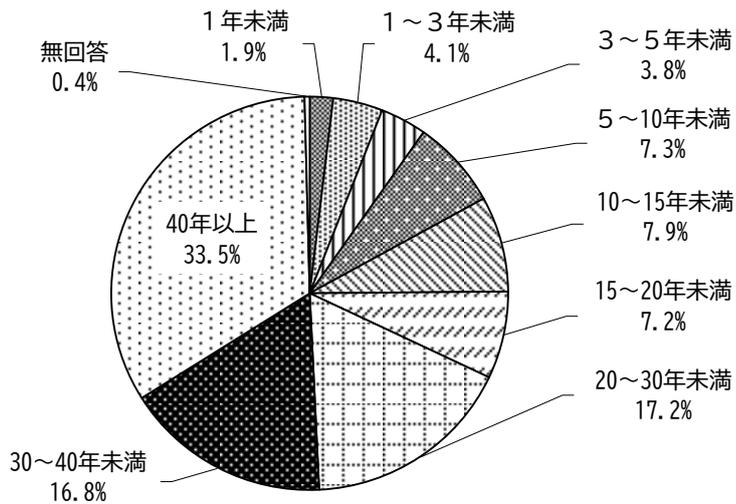
◆職業 (n=2,888)



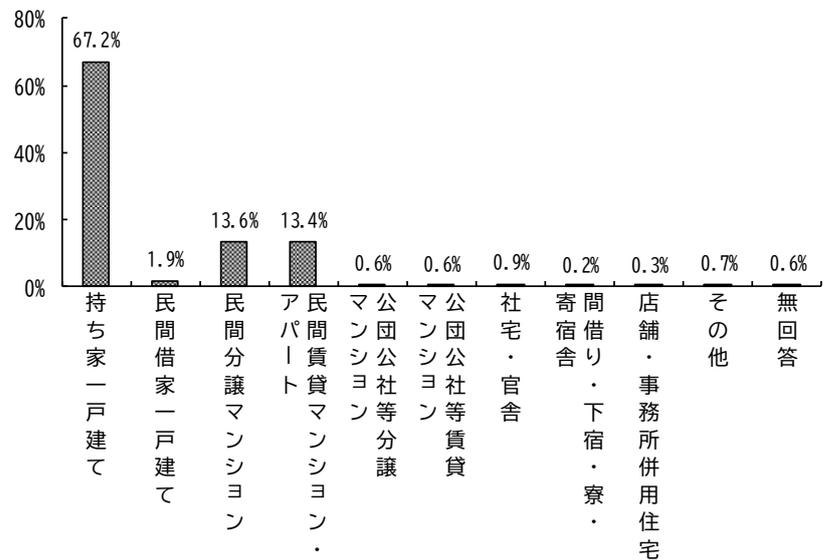
◆世帯の状況 (n=2,888)



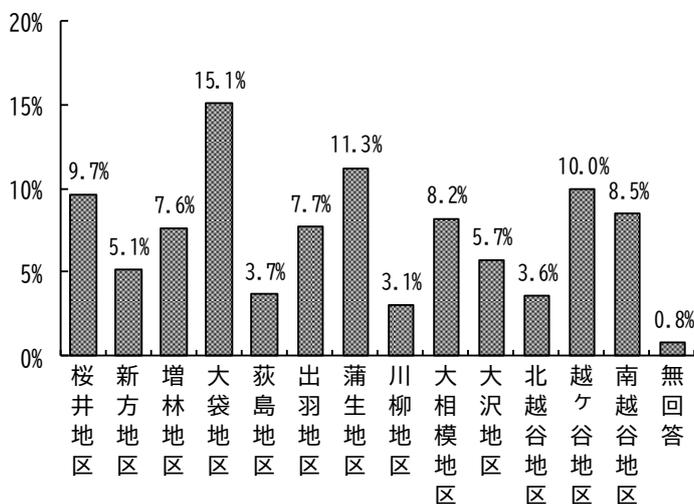
◆居住年数 (n=2,888)



◆居住形態 (n=2,888)



◆居住地区 (n=2,888)



Ⅲ. 調査結果

1. 暮らしや居留意向について

- 現在の暮らし向きには『満足』（「十分満足している」と「十分とはいえないが、一応満足している」の合計）が約6割。
- 『定住意向』（「ずっと住みたい」と「どちらかといえば住みたい」の合計）は7割半ば。
- 『転居意向』（「どちらかといえば引っ越したい」と「引っ越したい」の合計）は1割半ば。その主な理由は、「交通の便が悪いので」が1割半ばで最も多い。
- 越谷市居住の推奨意向は、『勧めたい』（「大いに勧めたい」、「勧めたい」、「どちらかという勧めたい」の合計）が約6割。

図 1-1 現在の暮らし向き (n=2,888)

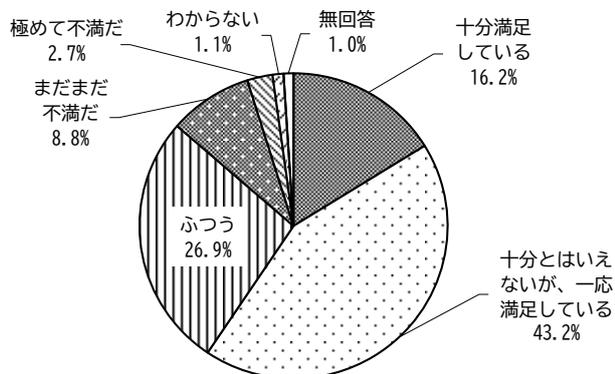


図 1-2 居留意向 (n=2,888)

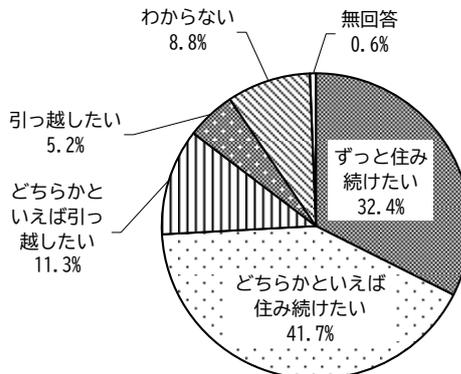


図 1-3 転居意向の理由 (上位5項目) (n=475)

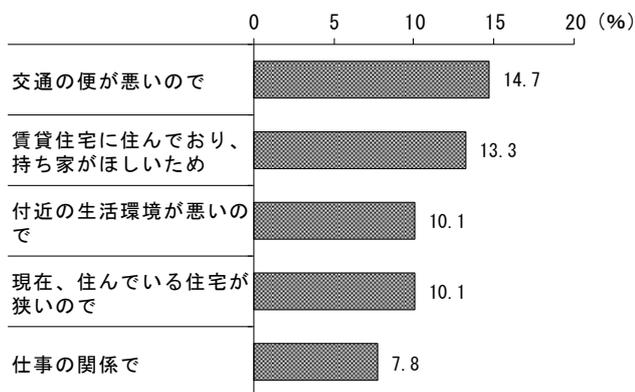
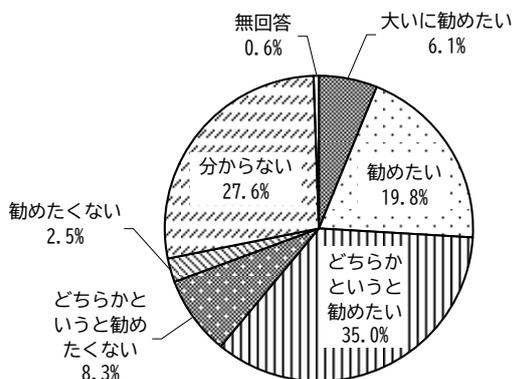


図 1-4 越谷市居住の推奨意向 (n=2,888)



2. 越谷市への愛着度と魅力発信について

- 越谷市への愛着は、『愛着がある』（「とても愛着がある」、「愛着がある」、「やや愛着がある」の合計）が7割強。
- 愛着がある理由は、「交通の利便性がよく、都内等に近い」が約7割で最も多い。
- 越谷市の誇れるものは、「イオンレイクタウン」が6割半ばで最も多い。

図 2-1 越谷市への愛着 (n=2,888)

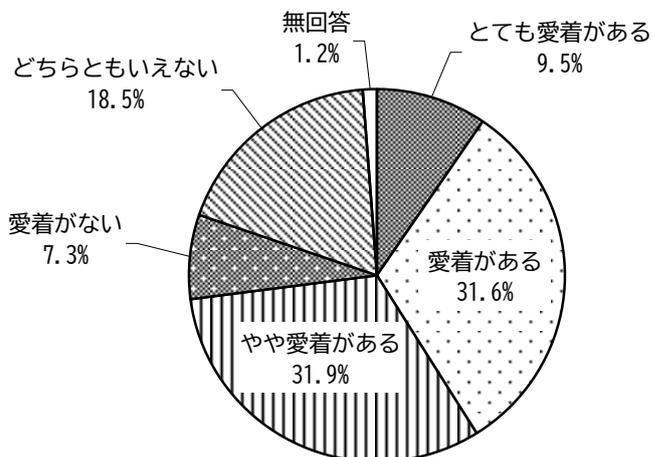


図 2-2 愛着がある理由 (上位 5 項目) (n=2,107)

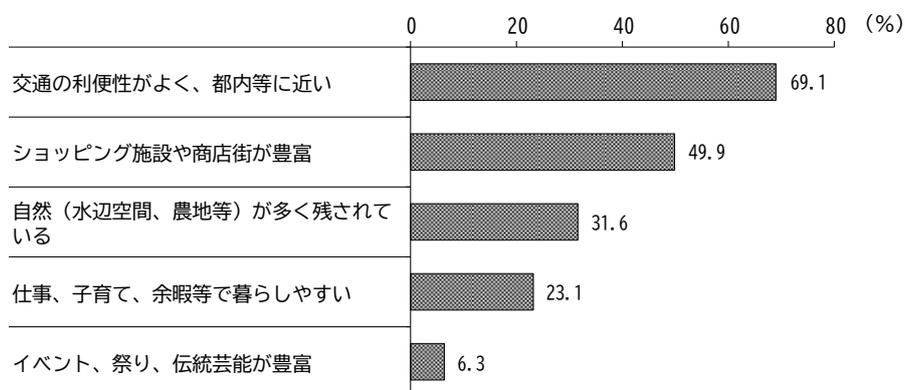
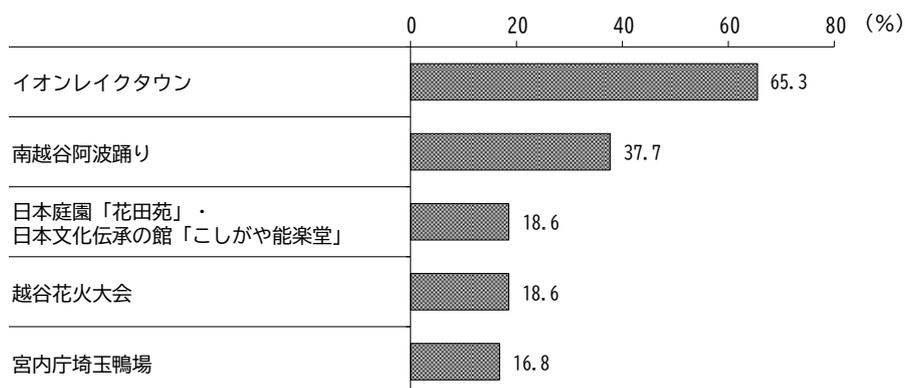


図 2-3 越谷市の誇れるもの (上位 5 項目) (n=2,888)



3. 地場農産物や地産地消について

- 越谷市の農業特産物の認知度は、「ねぎ」「くわい」が6割弱、「いちご」が5割半ばと多くなっている。
- 越谷市の農業特産物の購入経験は、「ねぎ」が約6割で最も多い。
- 購入場所は、太郎兵衛もち・チューリップは「市民まつりなどイベント」、くわいは「農産物直売所」、ねぎ・山東菜・いちご・小松菜は「市内スーパーマーケット」が多くなっている。

図 3-1 越谷の農業特産物の認知度 (n=2,888)

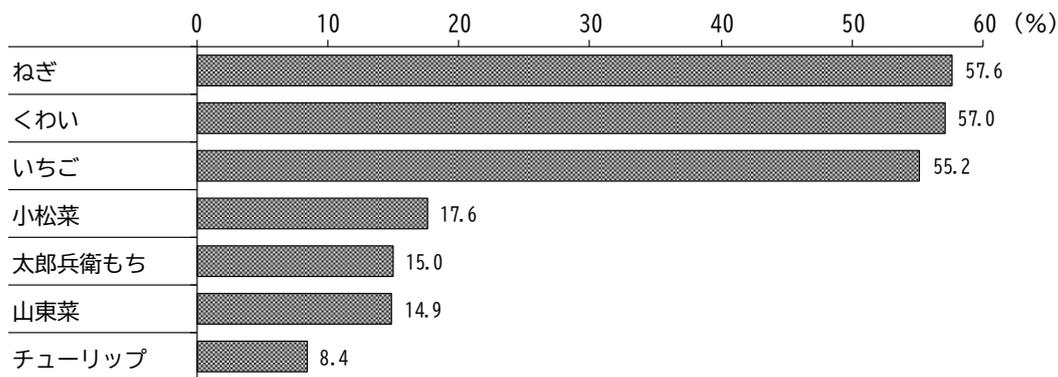
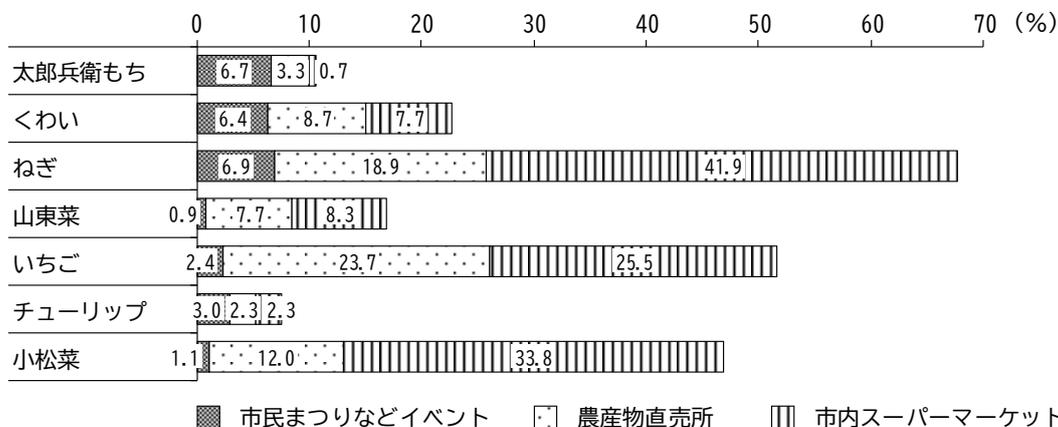
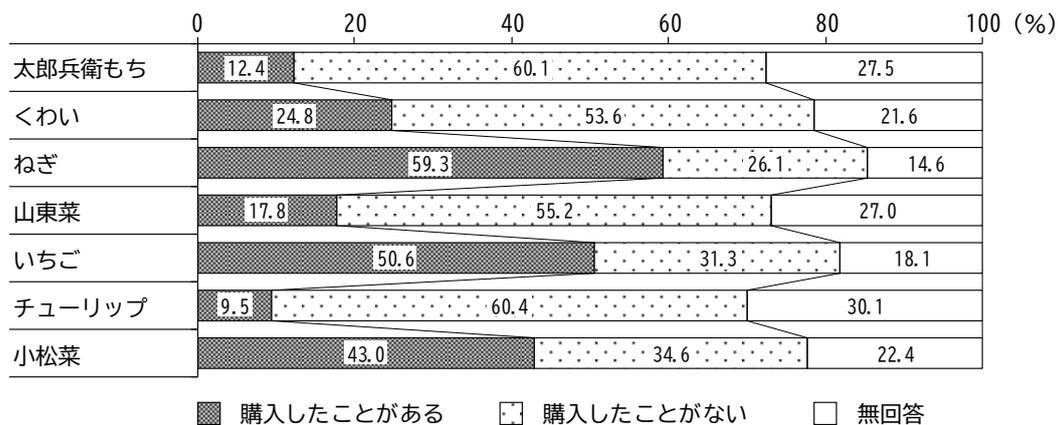


図 3-2 越谷の農業特産物の購入経験・購入場所 (n=2,888)



4. 市内の公共交通について

○公共交通の利用状況について、鉄道は「常に利用している」が3割弱、バスは「全く利用しない」が約4割、タクシーは「全く利用しない」が5割弱で最も多い。

○公共交通の満足度について、『満足』（「とても満足している」と「やや満足している」の合計）は鉄道が8割強、バスが約5割、タクシーが5割半ば。

図 4-1 公共交通の利用状況 (n=2,888)

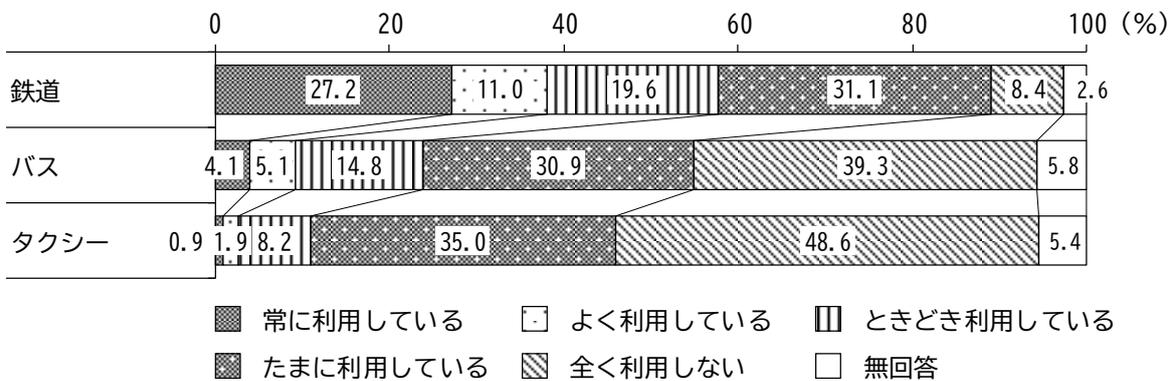
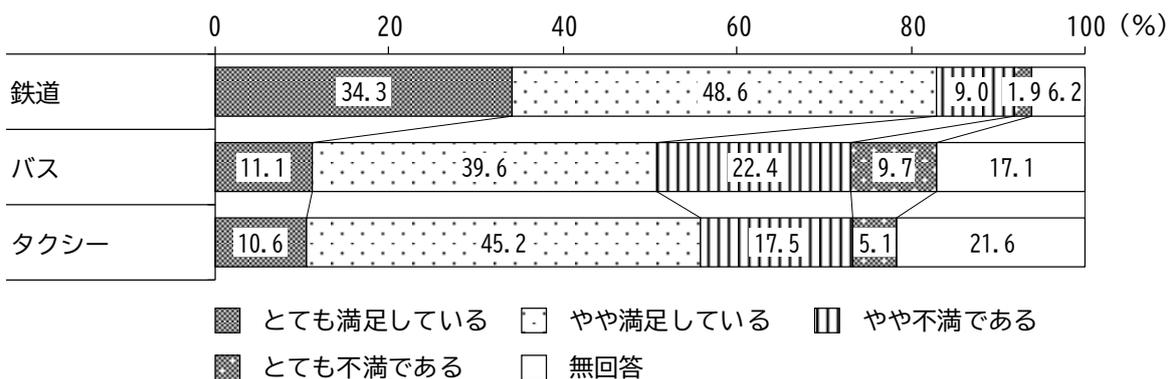


図 4-2 公共交通の満足度 (n=2,888)



5. 景観（風景）について

- 住まいの地区の景観（風景）の満足度は、『満足』（「満足している」と「十分とはいえないが、おおむね満足している」の合計）が6割半ば。
- 良い景観（風景）のまちをつくるために行政に望むことは、「良好な景観づくりに役立つ公共事業」が約5割で最も多い。

図 5-1 景観（風景）の満足度（n=2,888）

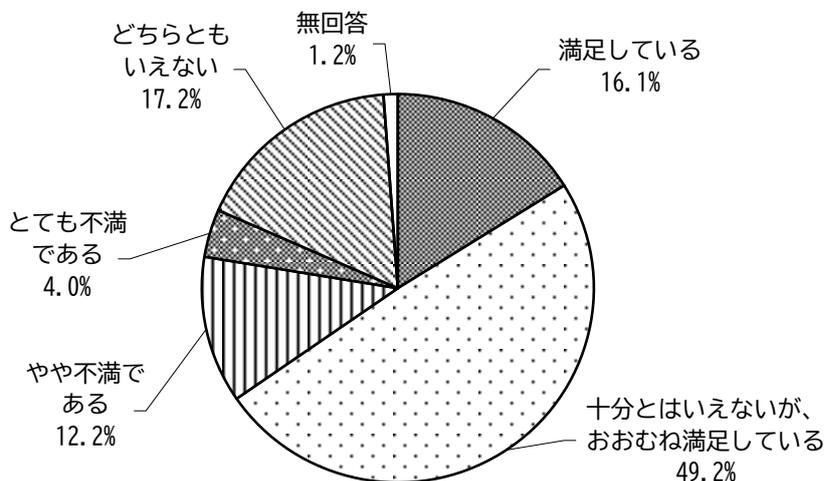
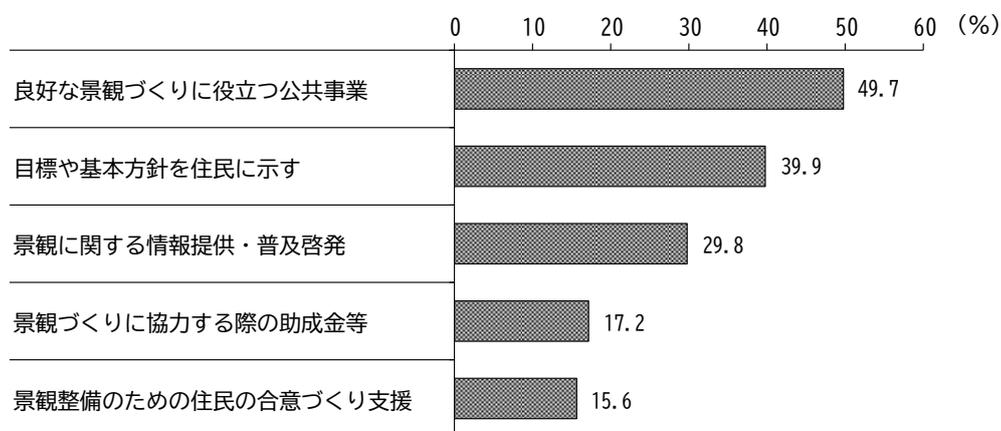


図 5-2 行政に望むこと（上位 5 項目）（n=2,888）



6. 地域医療体制について

- 地域医療体制の認知度は、「越谷市夜間急患診療所」が7割半ば、「休日当番医制度」が約7割、「埼玉県救急電話相談（#7119）」が4割強、「埼玉県A I 救急相談」が1割強。
- 医療機関の情報の入手方法は、「インターネットで調べる（越谷市・埼玉県公式ホームページを除く）」が5割半ばで最も多い。
- 特に力を入れる必要がある地域医療関連事業は、「夜間急患診療所」が約4割で最も多い。

図 6-1 地域医療体制の認知度 (n=2,888)

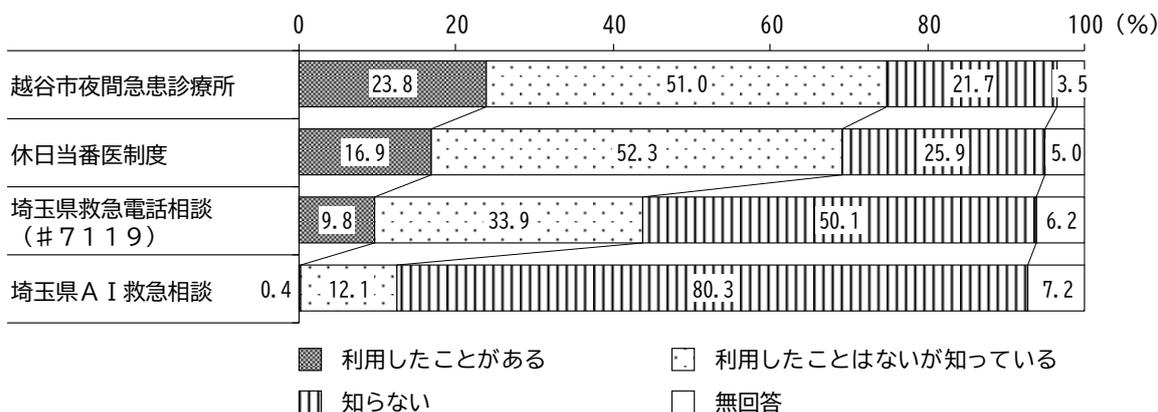


図 6-2 医療機関の情報の入手方法 (上位5項目) (n=2,888)

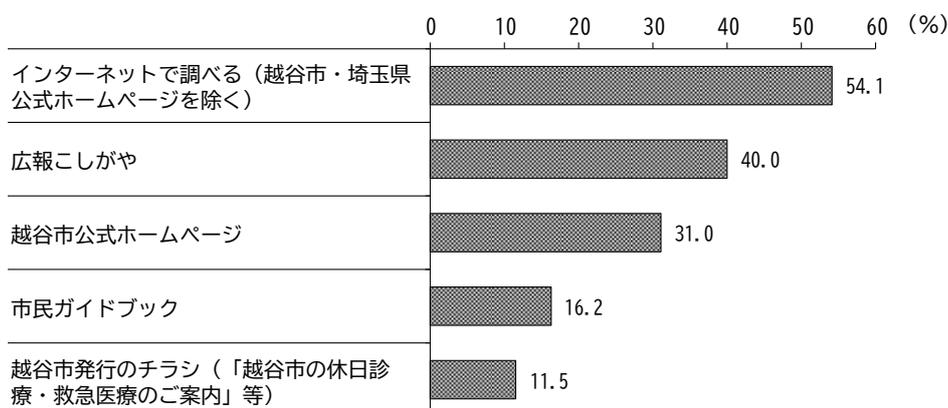
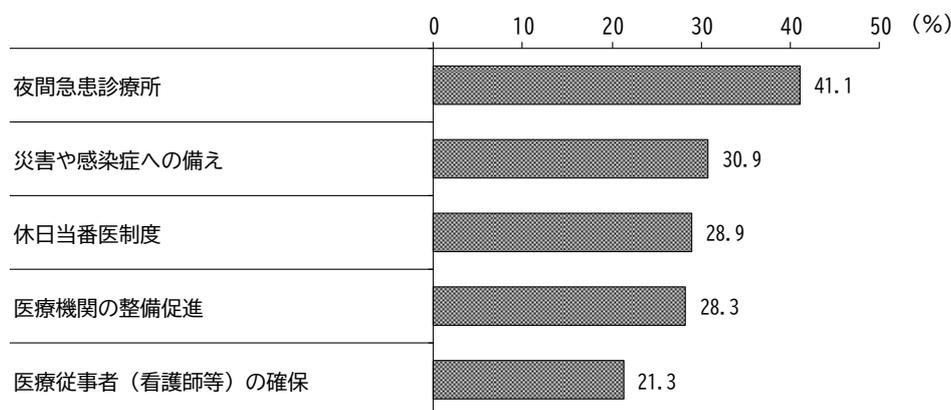


図 6-3 特に力を入れる必要がある地域医療関連事業 (上位5項目) (n=2,888)



7. 人権全般に関する意識について

- 今の日本社会において、基本的人権が『尊重されている』（「十分尊重されている」と「やや尊重されている」の合計）と思う人は6割強。
- 10年前と比べた人権意識は、『高くなっている』（「非常に高くなっている」と「やや高くなっている」の合計）と思う人が5割弱。
- 関心のある人権問題は、「インターネット上における人権問題」が5割弱で最も多い。
- 日常生活の中で人権が侵害されたと感じたことが「ある」は約2割、「ない」は約6割。
- 人権侵害を感じた内容は、「職場において、不当な待遇や上司の言動を受けた」が5割弱で最も多い。

図 7-1 基本的人権の意識 (n=2,888)

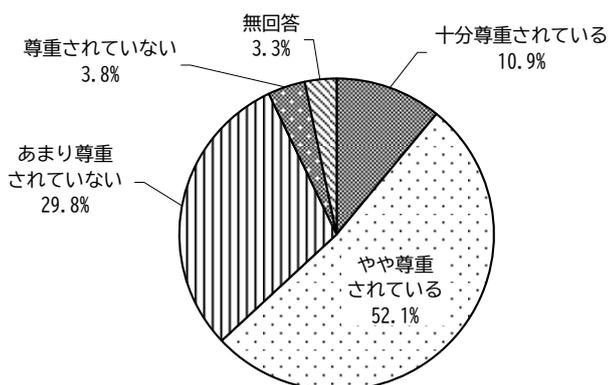


図 7-2 人権意識の変化 (n=2,888)

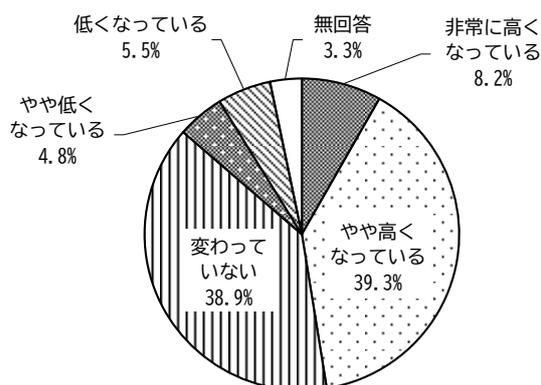


図 7-3 関心のある人権問題 (上位 5 項目) (n=2,888)

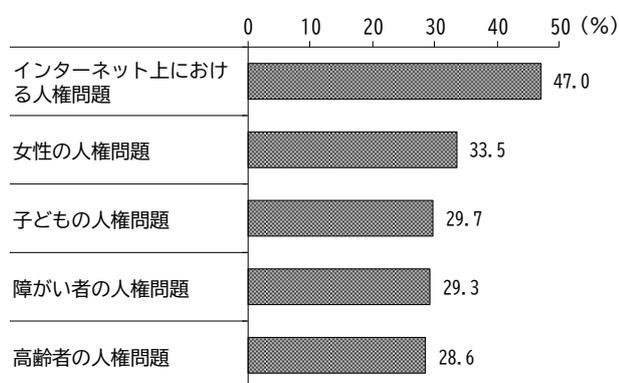


図 7-4 人権侵害を感じたこと (n=2,888)

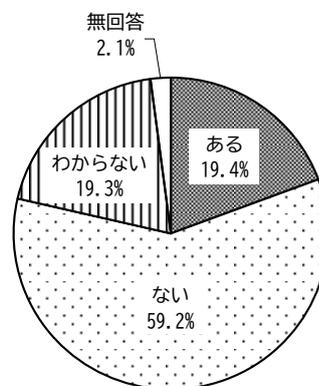
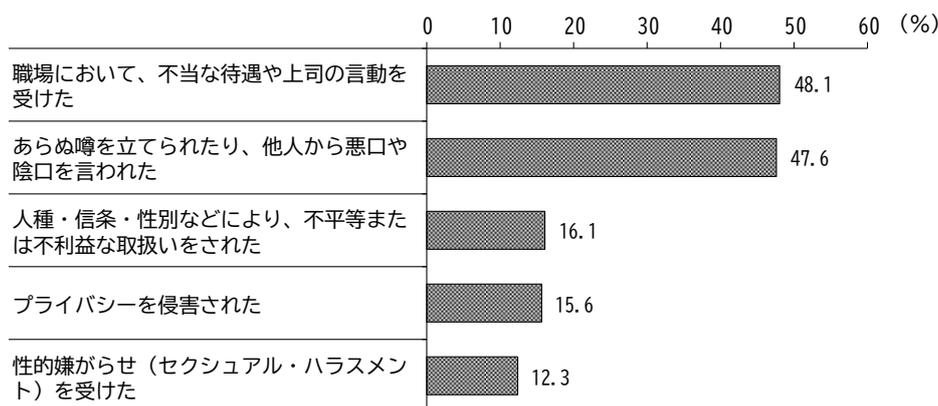


図 7-5 人権侵害を感じた内容 (上位 5 項目) (n=559)



8. 男女共同参画について

- 「教育・しつけ」で大切だと思うことは、「やさしさや思いやりをもたせる」が男の子は約7割、女の子は約8割で最も多い。
- 配偶者等からの暴力（ドメスティック・バイオレンス）の経験がある人は、「身体的暴力」が1割強、「精神的暴力」が1割半ば、「性的暴力」が1割未満、「経済的暴力」が1割未満。
- 配偶者等から暴力を受けたときの相談の有無は、『相談しなかった』（「相談できなかった」＋「相談しようとは思わなかった」の合計）が約6割。
- 配偶者等から暴力を受けたとき相談した人（場所）は、「家族・親せき」が6割半ばで最も多い。
- 配偶者等から暴力を受けたとき相談しなかった理由は、「相談するほどのことではないと思ったから」が5割半ばで最も多い。

図 8-1 「教育・しつけ」で大切だと思うこと（上位 5 項目）（n=2,888）

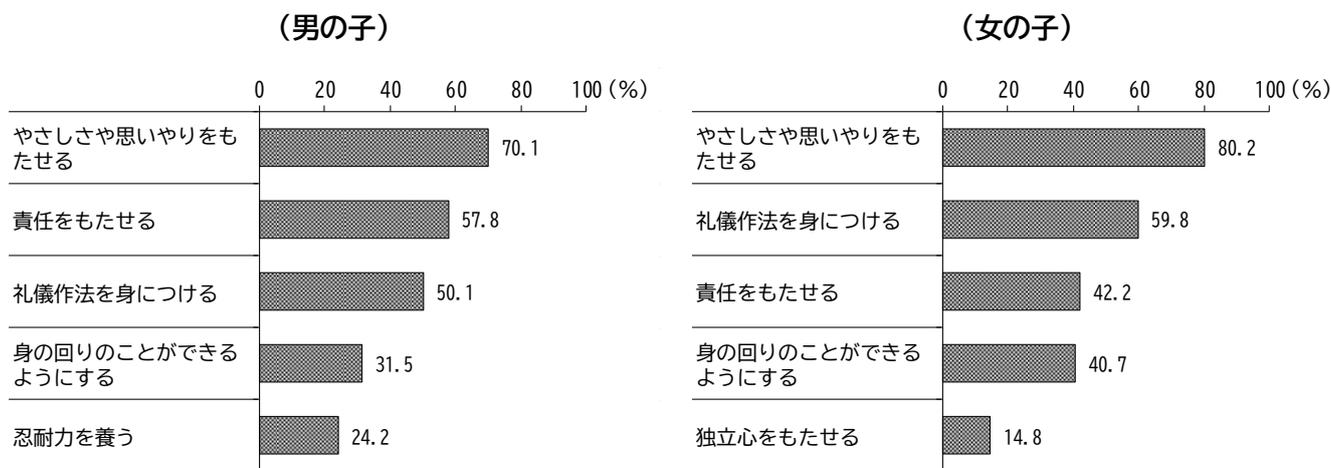
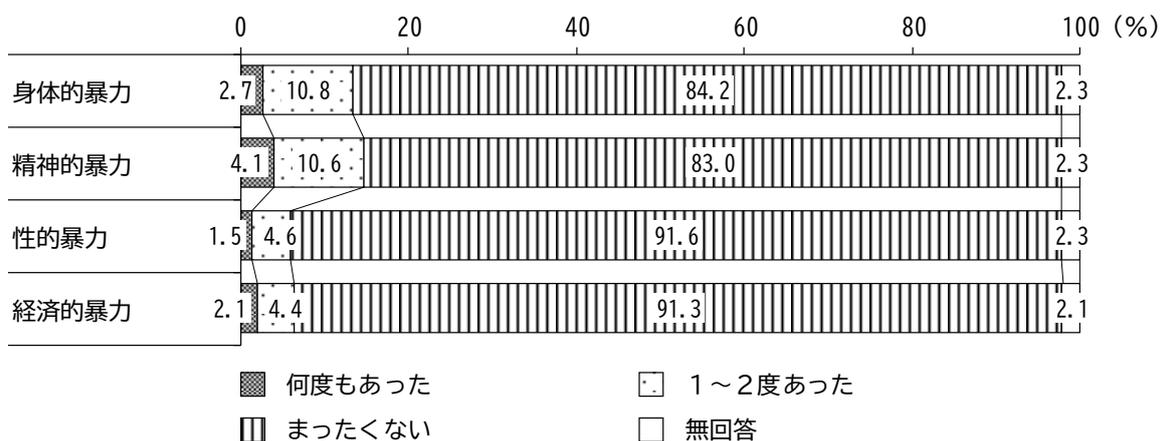


図 8-2 配偶者等からのDV（ドメスティック・バイオレンス）の有無（n=2,888）



- (※) 身体的暴力：殴る・蹴る・物を投げつける・突き飛ばす等の、身体に対する暴力を受けた
 精神的暴力：人格を否定するような暴言・交友関係や行先やメールの監視・長期間の無視等の精神的な嫌がらせ、あるいは、あなた、もしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた
 性的暴力：嫌がっているのに、性的な行為を強要された
 経済的暴力：生活費を渡されない・貯金を勝手に使われる・外で働くことを妨害されるなど、経済的な圧迫を受けた

図 8-3 配偶者等からDVを受けたときの相談の有無 (n=680)

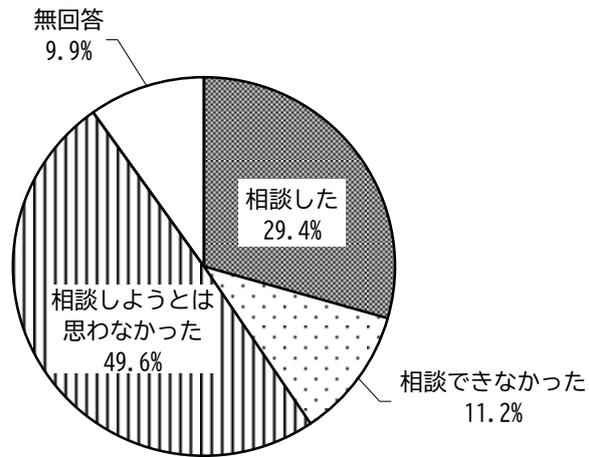


図 8-4 相談した人 (場所) (上位 5 項目) (n=200)

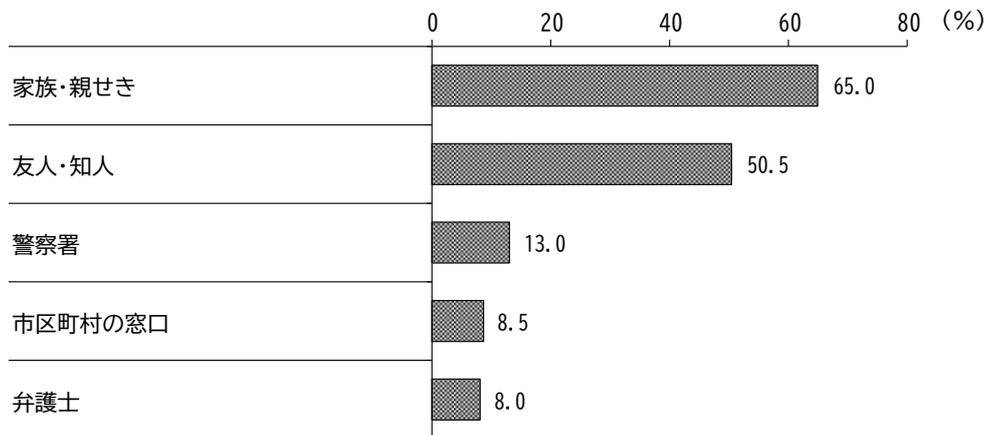
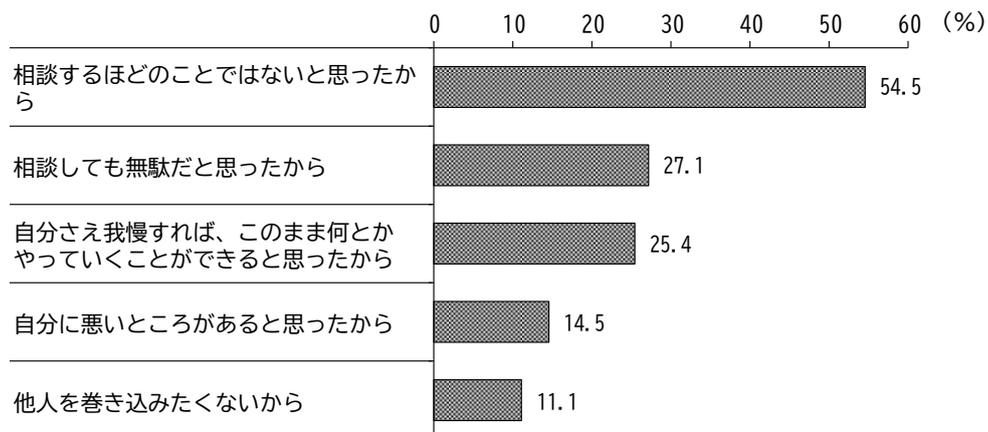


図 8-5 相談しなかった理由 (上位 5 項目) (n=413)



9. スポーツ・レクリエーションの実施状況について

- この1年間のスポーツ・レクリエーション活動の実施状況は、『週1回以上』（「週に3回以上」と「週に1～2回程度」の合計）が4割半ば。
- 活動を行った主な理由は、「運動不足解消」が約7割で最も多い。
- 活動の効果は、「運動不足が解消した」が4割半ばで最も多い。
- 活動を行っていない理由は、「仕事（家事、育児も含む）や勉強が忙しいから」が約4割で最も多い。
- 今後、行ってみたい活動は、比較的軽いスポーツが「ウォーキング」、野外活動が「ハイキング」、競技的スポーツが「テニス」で最も多い。

図 9-1 スポーツ・レクリエーション活動の実施状況 (n=2,888)

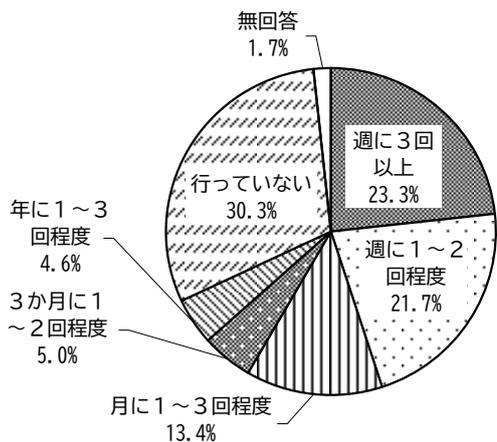


図 9-2 スポーツ・レクリエーション活動を行った主な理由 (上位5項目) (n=1,965)

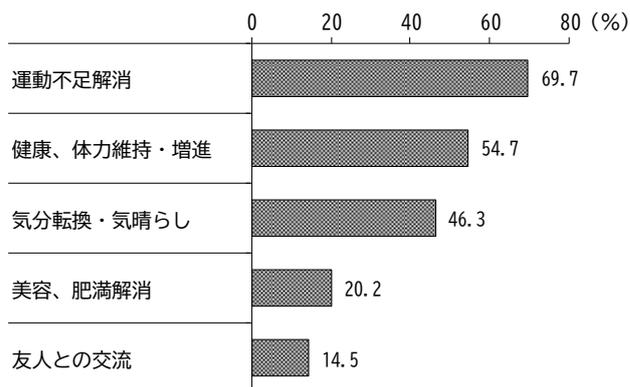


図 9-3 スポーツ・レクリエーション活動の効果 (上位5項目) (n=1,299)

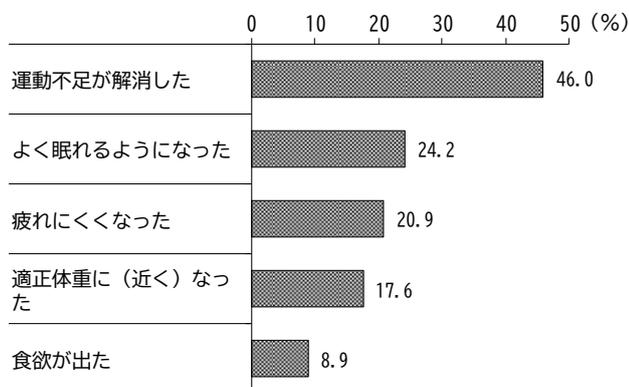


図 9-4 スポーツ・レクリエーション活動を行っていない理由 (上位5項目) (n=874)

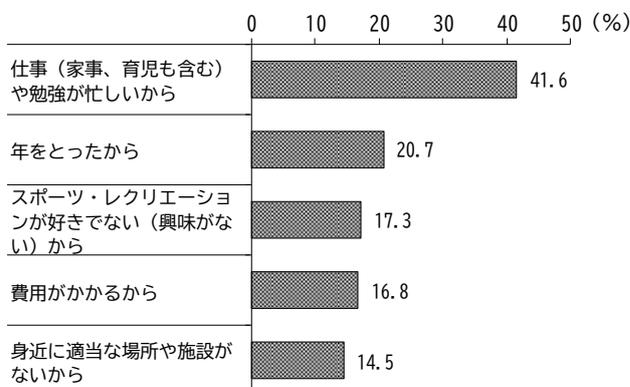
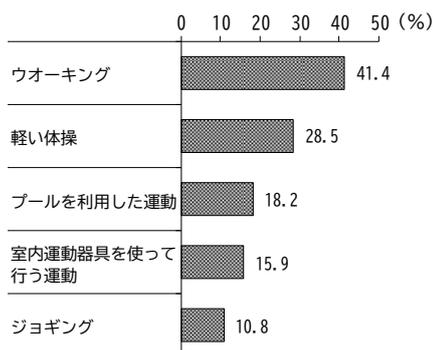
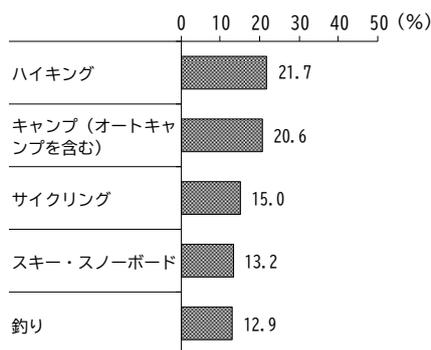


図 9-5 今後、行ってみたいと思うスポーツ・レクリエーション活動 (上位5項目) (n=2,888)

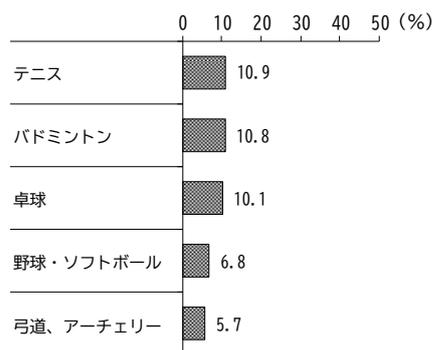
—比較的軽いスポーツ—



—野外活動—



—競技的スポーツ—



10. 広報について

- 市政情報の入手先は、「広報こしがや」が6割半ばで最も多い。
- 市政情報を得るために活用したことがあるものは、「広報こしがや」が7割半ばで最も多い。
- 広報こしがやの感想は、『わかりやすい』（「わかりやすい」と「おおむねわかりやすい」の合計）が8割弱。
- 広報こしがやでわかりにくい点は、「記事の配置」、「文字が多すぎる、図が少ない」、「情報が多すぎる」など。

図 10-1 市政情報の入手先（上位 5 項目）
（n=2,888）

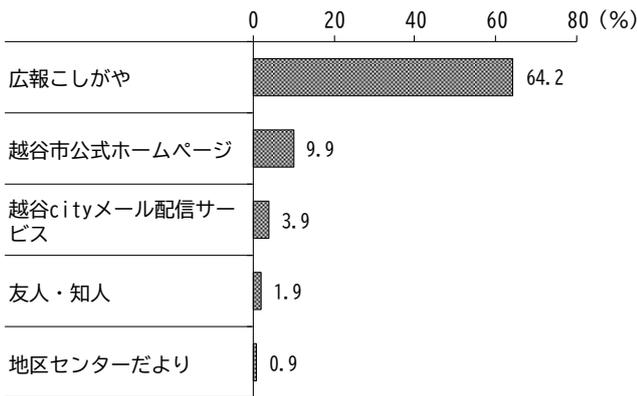


図 10-2 市政情報を得るために活用したもの
（上位 5 項目）（n=2,888）

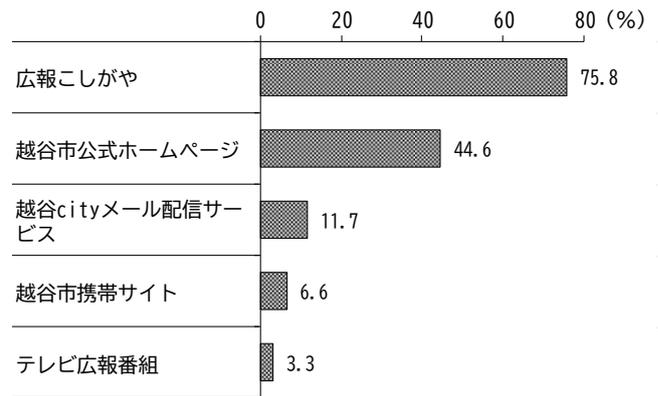


図 10-3 広報こしがやの感想
（n=2,188）

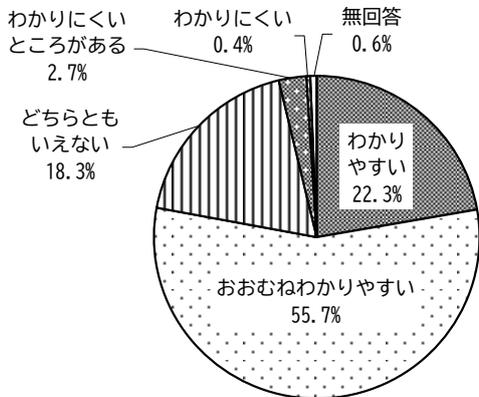
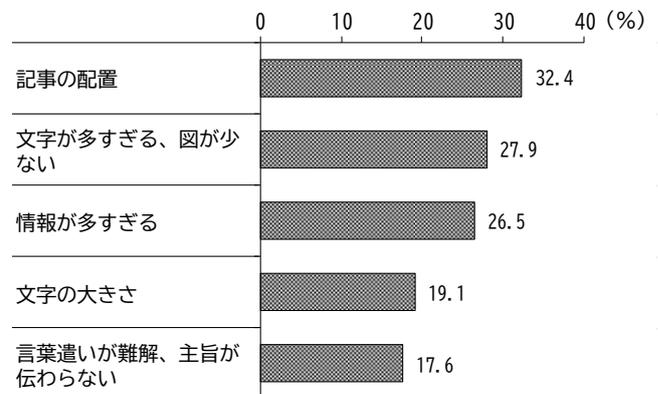


図 10-4 広報こしがやのわかりにくい点
（上位 5 項目）（n=68）



11. 行政のデジタル化について

- オンライン化してほしい行政手続きは、「市民税・県民税申告に関する手続」が2割半ばで最も多い。
- 公衆Wi-Fiを設置してほしい公共施設は、「市役所（第2庁舎、第3庁舎）」が3割強で最も多い。
- 公衆Wi-Fiの利用目的は、「越谷市の各種手続きの情報収集」が約2割で最も多い。

図 11-1 オンライン化してほしい行政手続き（上位5項目）（n=2,888）

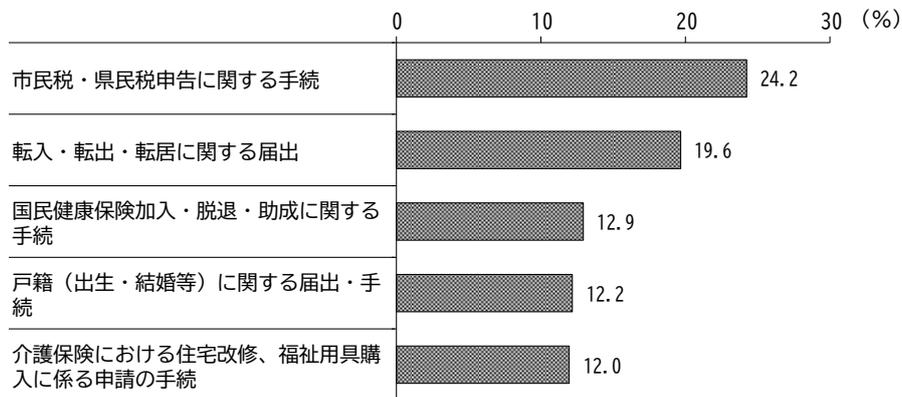


図 11-2 公衆Wi-Fiを設置してほしい公共施設（上位5項目）（n=2,888）

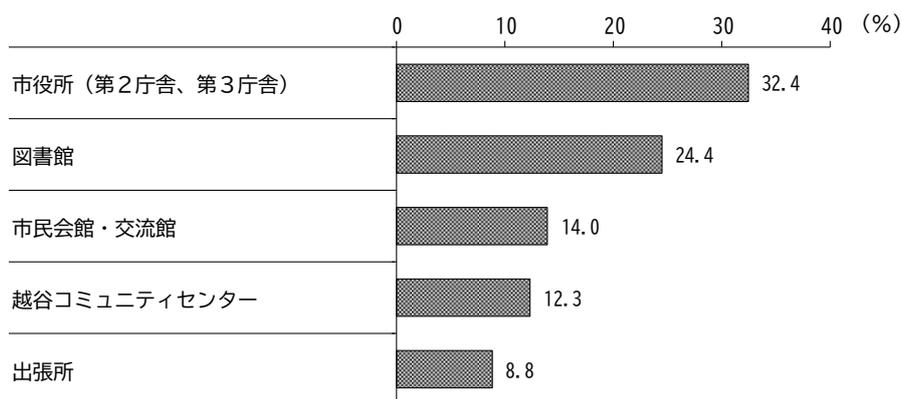
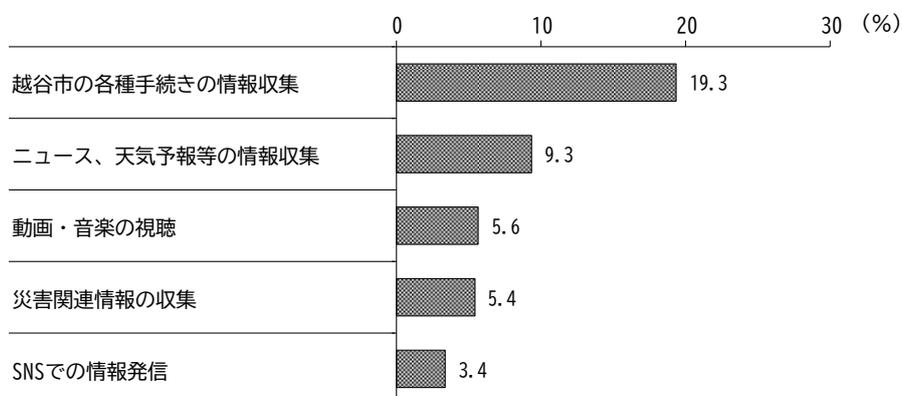


図 11-3 公衆Wi-Fiの利用目的（上位5項目）（n=2,888）



12. 参加と協働のまちづくりについて

- 「参加と協働のまちづくり」の認知度は、『知っている』（「よく知っている」と「まあまあ知っている」の合計）が1割強。
- 「参加と協働のまちづくり」を知ったきっかけは、「広報こしがや」が8割弱で最も多い。
- 「参加と協働のまちづくり」への参加意向は、『参加したい』（「参加したい」と「どちらかといえば参加したい」の合計）が約3割。
- 「越谷市自治基本条例」の認知度は、『知っている』（「よく知っている」と「まあまあ知っている」の合計）が1割未満。
- 「越谷市自治基本条例」を知ったきっかけは、「広報こしがや」が7割半ばで最も多い。
- 「越谷市自治基本条例」の普及・啓発方法は、「広報こしがやへの情報掲載」が6割弱で最も多い。

図 12-1 「参加と協働のまちづくり」の認知度 (n=2,888)

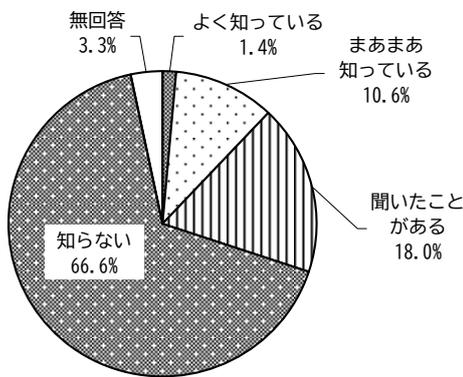


図 12-2 「参加と協働のまちづくり」を知ったきっかけ (上位5項目) (n=869)

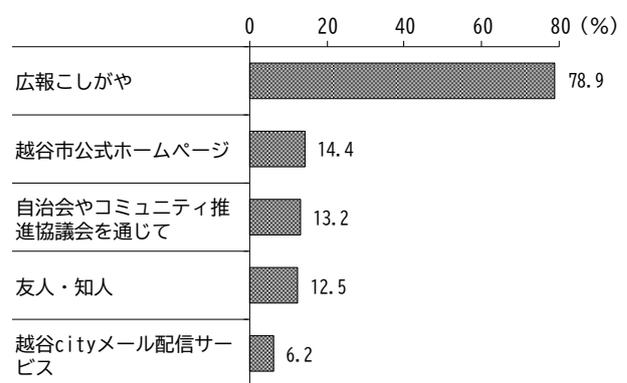


図 12-3 「参加と協働のまちづくり」への参加意向 (n=2,888)

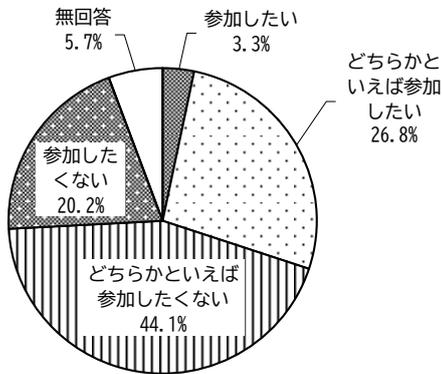


図 12-4 「越谷市自治基本条例」の認知度 (n=2,888)

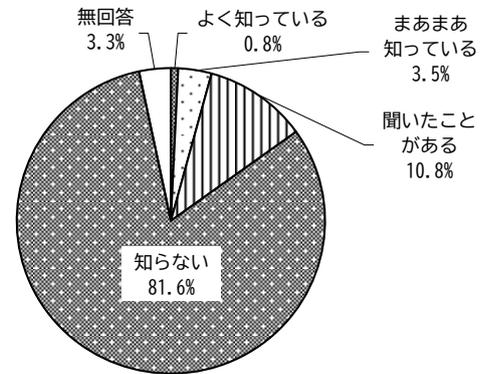


図 12-5 「越谷市自治基本条例」を知ったきっかけ (上位5項目) (n=436)

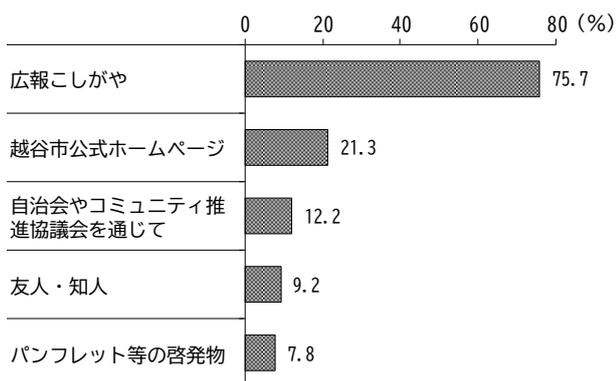
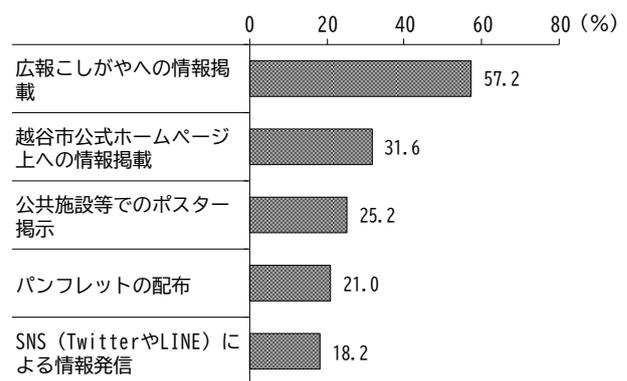


図 12-6 「越谷市自治基本条例」の普及・啓発方法 (上位5項目) (n=2,888)



13. 防犯について

- 日頃、脅威や不安を感じる街頭犯罪等は、「路上強盗・ひったくり」が6割強で最も多い。
- 市が行う効果的な防犯対策は、「防犯カメラの設置」が7割半ばで最も多い。
- 自主的な防犯活動に、「参加したことがある」が1割半ば。
- 参加したことがある自主防犯活動は、「地域パトロール活動」が7割強で最も多い。
- 自主的な防犯活動に参加したことがない人の今後の参加意向は、参加したいと「思う」が約1割。
- 自主的な防犯活動に参加したいと思わない人の理由は、「時間がない」が3割半ばで最も多い。

図 13-1 脅威や不安を感じる街頭犯罪等
(上位 5 項目) (n=2,888)

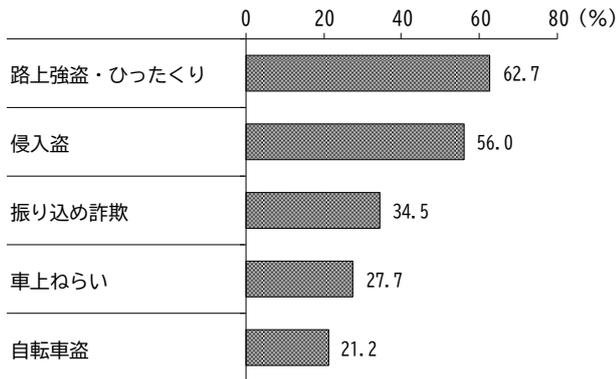


図 13-2 効果的な防犯対策 (上位 5 項目)
(n=2,888)

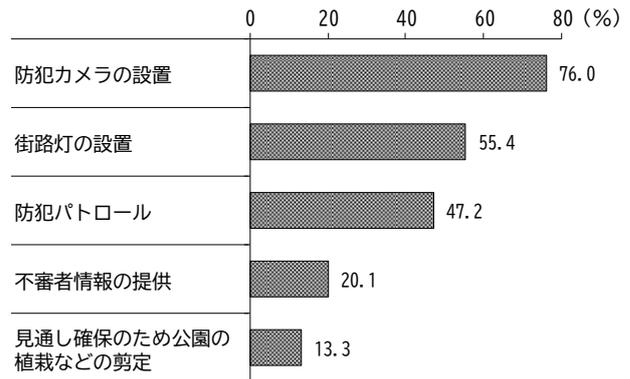


図 13-3 自主的な防犯活動への参加
(n=2,888)

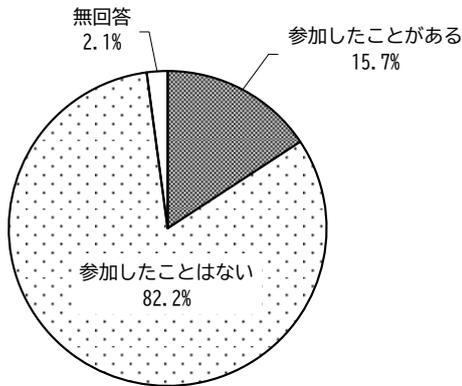


図 13-4 参加したことがある自主防犯活動
(上位 5 項目) (n=454)

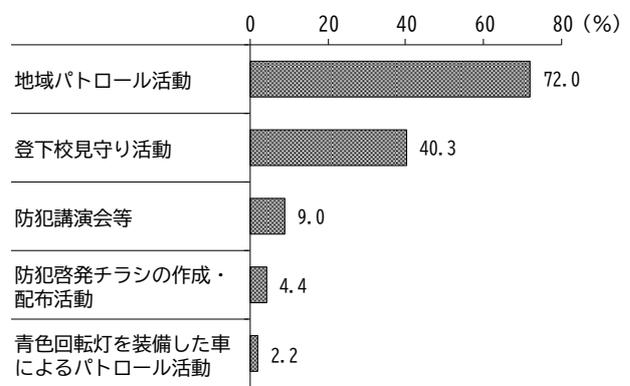


図 13-5 自主的な防犯活動への参加意向
(n=2,373)

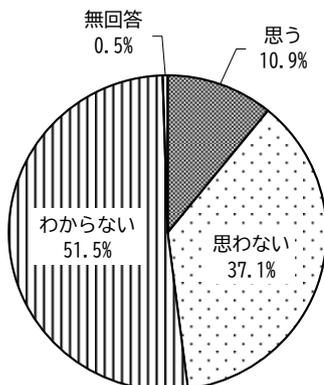
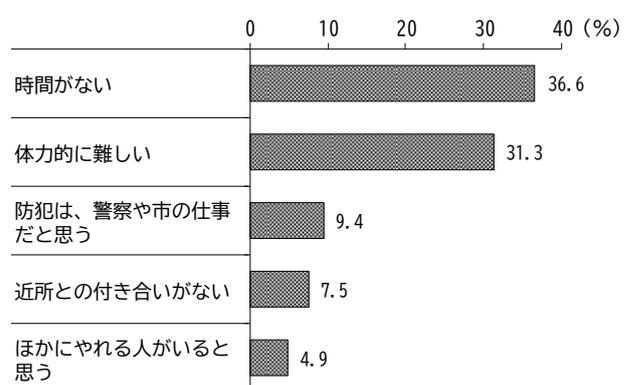


図 13-6 自主的な防犯活動に参加したいと思わない理由 (上位 5 項目) (n=880)



14. 特殊詐欺について

- 特殊詐欺の手口の認知度は、「オレオレ詐欺」が9割半ばで最も多い。
- 特殊詐欺を知ったきっかけは、「テレビ」が9割強で最も多い。
- 実際に受けたことがある特殊詐欺の連絡方法は、「電子メール」が3割半ばで最も多い。
- 特殊詐欺の連絡を受けた際の対応は、「怪しいと思い無視した」が8割強で最も多い。
- 特殊詐欺の被害を防止するために必要なことは、「家族間等における話し合い」が6割強で最も多い。

図 14-1 特殊詐欺の手口の認知度
(上位 5 項目) (n=2,888)

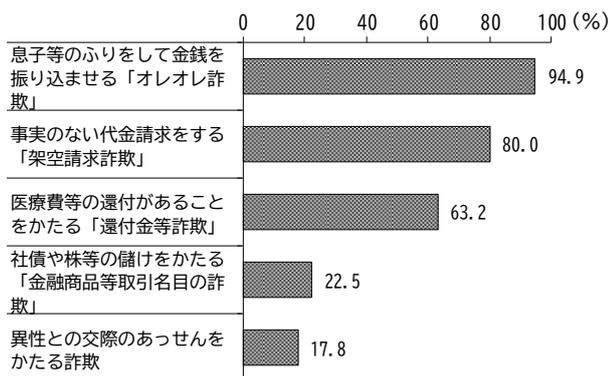


図 14-2 特殊詐欺を知ったきっかけ
(上位 5 項目) (n=2,806)

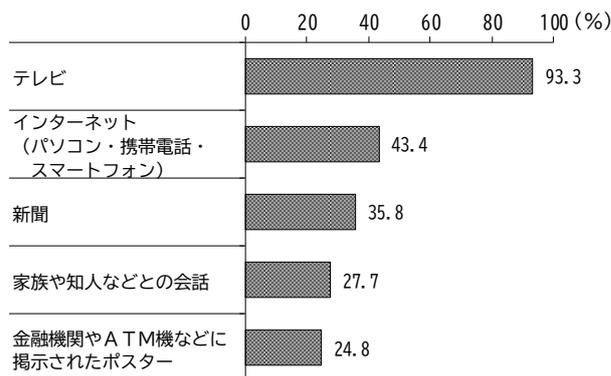


図 14-3 実際に受けたことがある特殊詐欺の
連絡方法 (n=2,888)

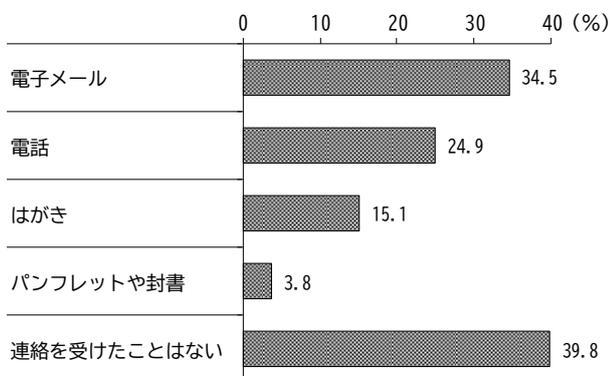


図 14-4 特殊詐欺の連絡を受けた際の対応
(上位 5 項目) (n=1,673)

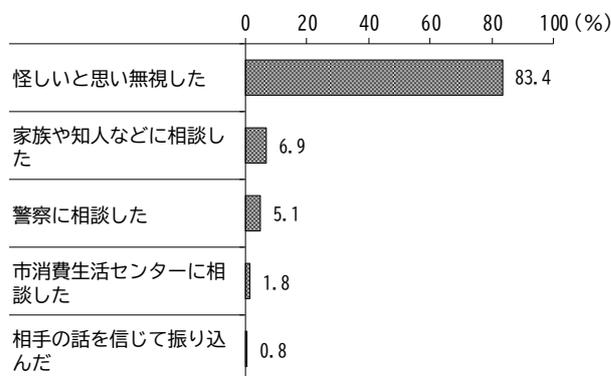
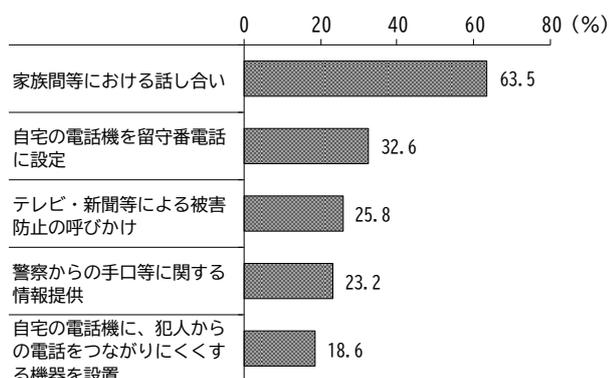


図 14-5 特殊詐欺被害の防止策 (上位 5 項目)
(n=2,888)



15. 消防団について

- 消防団の認知度は、「知っている」が6割。
- 消防団員の種別について知っているものは、「基本団員（男性団員、女性団員）」が3割弱で最も多い。
- 消防団員の活動について知っているものは、「火災時の消火活動」が約5割で最も多い。
- 消防団員の待遇について知っているものは、「被服の貸与」が2割で最も多い。
- 消防団への入団意向は、「入団してみたい」が1割未満。
- 消防団に「入団したくない」または「どちらともいえない」理由は、「年齢的・体力的に厳しい」が5割半ばで最も多い。
- 消防団に期待する活動は、「避難所運営補助活動（避難誘導含む）」が5割弱で最も多い。

図 15-1 消防団の認知度
(n=2,888)

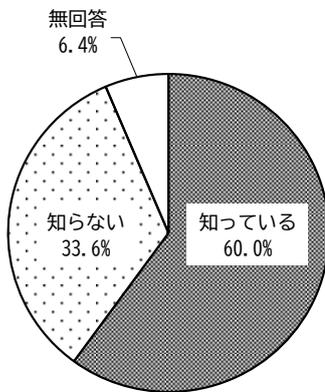


図 15-2 消防団員の種別について
(n=2,888)

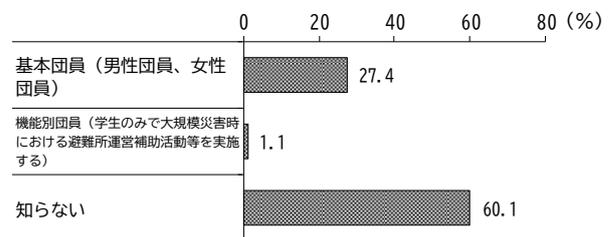


図 15-3 消防団員の活動について（上位5項目）
(n=2,888)

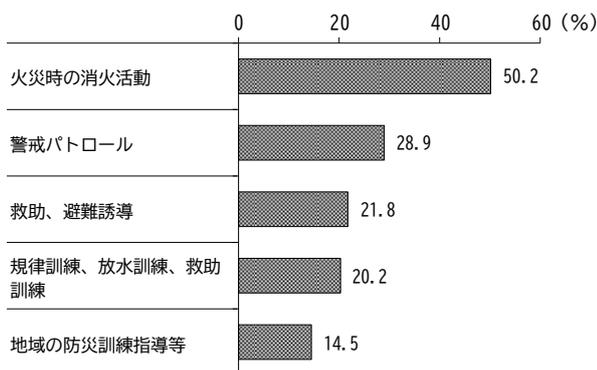


図 15-4 消防団員の待遇について（上位5項目）
(n=2,888)

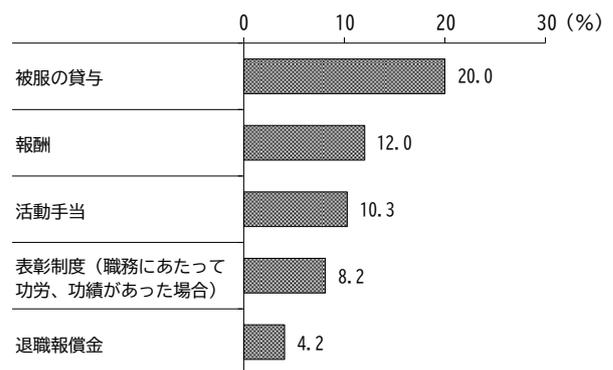


図 15-5 消防団への入団意向
(n=2,888)

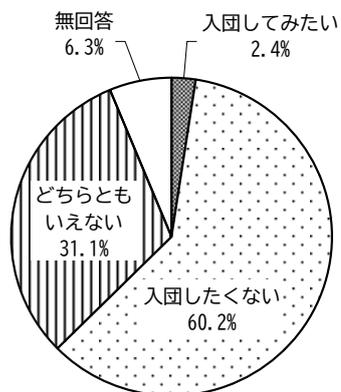


図 15-6 消防団入団に消極的な理由
(上位 5 項目) (n=2,637)

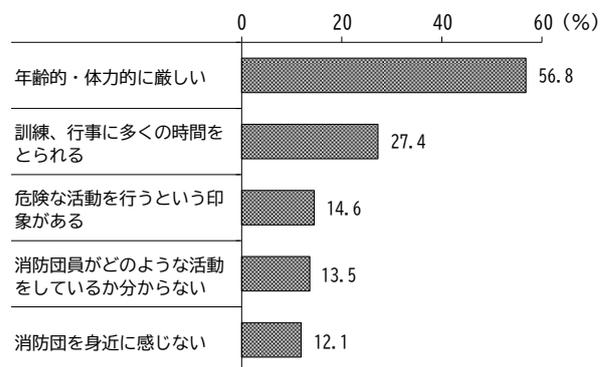
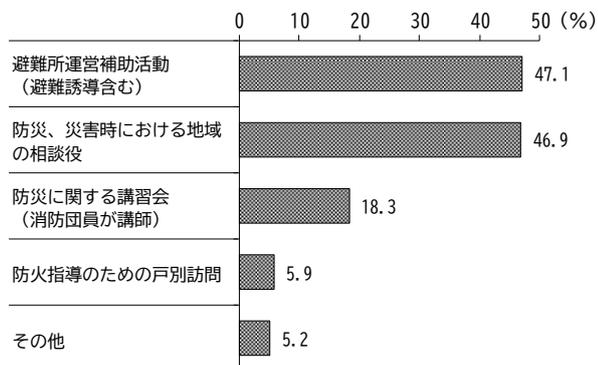


図 15-7 消防団に期待する活動
(n=2,888)



16. 越谷市の施策について

- 市の施策について、ここ数年のうちで「よくなってきたと感じるもの」は、「駅周辺の整備」が3割弱で最も多い。
- 今後の市政の中で「特に力を入れるべきだと思われるもの」は、「水害や地震などの災害対策」が3割弱で最も多い。

図 16-1 よくなってきたと感じるもの
(上位 10 項目) (n=2,888)

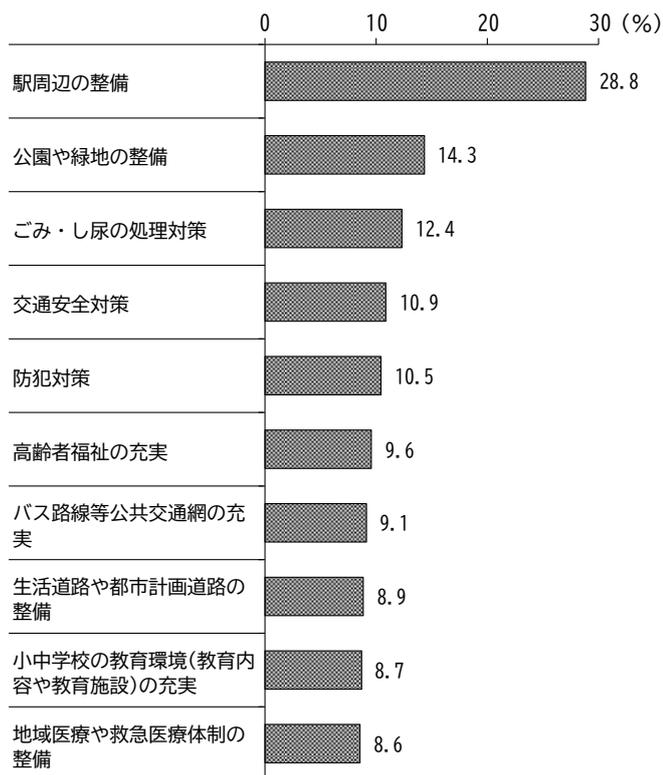
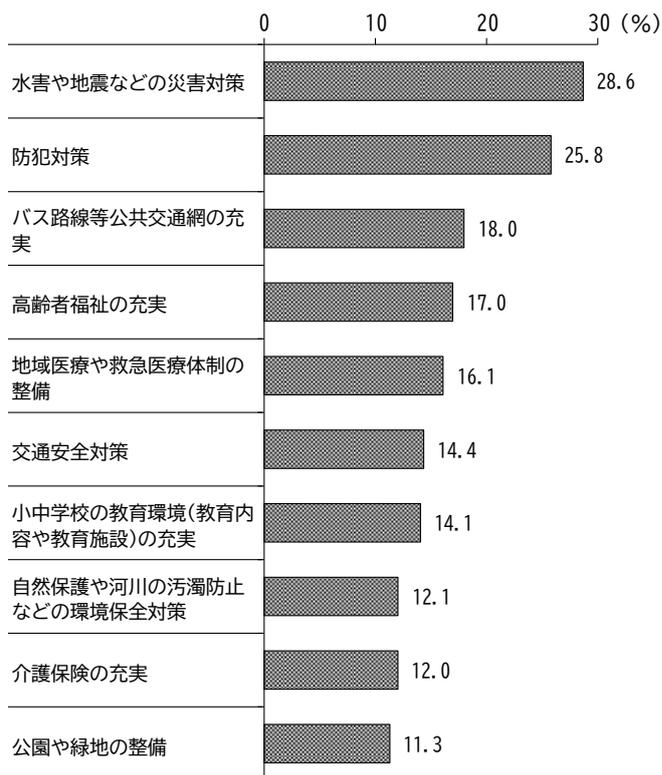


図 16-2 特に力を入れるべきだと思われるもの
(上位 10 項目) (n=2,888)



令和3年度 市政世論調査結果報告書

令和3年11月

発行：越谷市 市民協働部 暮らし安心課
〒343-8501 埼玉県越谷市越ヶ谷四丁目2番1号
電話 048(963)9336(直通)

調査実施：株式会社 物流科学研究所
〒330-0052 さいたま市浦和区本太2-2-36
SUNCREST 302
電話 048(887)3790
